

季刊

医大

# おらんくの大学病院

[高知大学医学部附属病院]

[Vol.8]

2020年冬 12月20日

発行

## 特集 Long Interview

高知大学の、新たなるムーブメントに注目!  
「光線医療が変えたもの、光線医療で変わるもの」  
高知大学に日本発の「光線医療センター」が誕生してから3年半。  
二代目センター長の井上啓史先生と中山沢特任助教に、現在の活動とこれからについてお話を聞いた。

Topics

心臓血管外科 教授 三浦 友二郎

●おらんくの食事

栄養管理部から「冬」のおすすめ料理

●医大のスタッフ

感染管理部



冬のイベント案内



大動脈弁でも僧帽弁でも手術後の生活の質を変えない外科治療を目指します。

### 若年者の大動脈弁形成術

若年患者の大動脈弁逆流症の場合は、弁の状態と年齢にあった耐久性のある大動脈弁形成術により、機械弁置換による生涯ワーファリン内服による抗凝固療法を回避します。

### 僧帽弁形成術

僧帽弁逆流症の手術では、形成術を標準治療とし、形成術が望ましいご年齢、弁の状態の患者さんには全例逆流の残らない形成術を行っています。

### 胸部大動脈瘤 (下左図)

胸部大動脈瘤の中でも弓部大動脈瘤は侵襲が大きくなる領域のため、迅速かつ確実な外科手術を実践するだけでなく、ステントグラフトを組み合わせたハイブリッド治療を選択肢としています。  
(写真は右側大動脈弓と弓部大動脈瘤に対するハイブリッド治療)

### 冠動脈バイパス術

耐久性に優れる動脈グラフトを中心に心拍動下冠動脈バイパス術を標準治療とし、手術の低侵襲化を図り安全かつ確実な血行再建術を実施しています。  
(写真は左内胸動脈、橈骨動脈、右胃大網動脈を使用した4枝バイパス)

### 開窓型腹部ステントグラフト内挿術 (上右図)

ステントグラフト治療が90%以上に及ぶ中で、治療困難な症例には外科手術を検討します。その中でも外科手術が難しい患者さんには図のように開窓型ステントグラフト内挿術(FEVAR)も適応を見極めて行っています。



地元食材で、シンプル&大人味のピザはいかが?

## メイドイン高知の“カントリーピザ”



### 【材 料】(1枚分)

白ネギ…… 60g (1/2本) ベビーリーフ………適量  
 しらす……… 30g チーズ……… 50g  
 プチトマト……15g (2個) ピザ生地………19cm1枚\*

### 【ピザソース】

(A) { マヨネーズ……… 大さじ3  
 ゆず胡椒……… 小さじ1/3  
 しょう油……… 小さじ1

### 【作り方】

- ① (A) の調味料を混ぜてソースを作っておく。
- ② 白ネギは半分は小口切り、半分は斜め切りにする。
- ③ 生地にソースを塗り、小口切りの白ネギ、斜め切りの白ネギ、しらす、チーズの順番にのせる。
- ④ オーブントースターで色がつくまで焼きあげる。
- ⑤ 最後にベビーリーフ、プチトマトをのせる。

私達が  
担当が  
しました

### 一 言 M E M O

今回はピザソースにゆず胡椒を使用しました。ゆずは冬が旬の高知の食材です。国内の生産量は高知県が1位、なかでも馬路村が有名です。ゆず胡椒は、ゆず皮と唐辛子をすりつぶして塩を加え混ぜ合わせた香辛料です。成分としては新陳代謝を活性化させるカプサイシンや抗酸化作用をもつビタミンCを含みます。唐辛子とゆずにはどちらも血流改善効果があるといわれているため、ゆず胡椒にも体を温める効果などが期待できそうです。

### 〈ポイント〉

- ピザ生地はカリカリした食感の薄い生地(※ミラノ生地、クリスピー)がお勧めです。
- ゆず胡椒はお好みで調整を。
- ★メーカーによって辛さが違うため注意!★

### 栄養量 (1枚当たり)

エネルギー	669kcal
たんぱく質	28.0g
脂 質	28.9g
炭水化物	67.7g
塩 分	4.7g

左) 管理栄養士/久保井 聖代  
 右) 調理師/伊藤 廉一郎

医療安全管理施設

Medical Safety Management Facilities

# 感染管理部

Infection Control and Prevention Department

部長  
武内 世生  
たけうち せいしょう



**高知大学医学部附属病院感染管理部は、コロナ禍の中、医療従事者の感染防止に積極的に取り組み、高知県の感染管理・感染症診療に貢献します。**



## スタッフ紹介

感染症専門医、インфекションコントロールドクター、感染管理認定看護師、感染制御専門薬剤師、感染制御認定臨床微生物検査技師の感染管理に関する専門職で構成されています。各職種の専門的知識・技術を活かして、感染管理に取り組んでいます。

## 院内での取り組み

具体的には、手指衛生の向上、医療器材の洗浄・消毒・滅菌、病院内の環境整備、職員の教育、院内感染防止マニュアルの整備、針刺し・血液暴露対応などに関して、サーベイランスでのデータ収集、院内ラウンドでの確認、コンサルテーションの受付により、感染対策が正しく行われているか確認すると同時に、改善策を検討しています。その結果、病院全体の医療関連感染を減少し、アウトブレイクを阻止しています。万が一感染が発生した場合には、迅速かつ適正に対応します。

## 抗菌薬の適正使用

抗菌薬の適正使用を推進するために、抗菌薬使用量の集計と結果のフィードバック、採用抗菌薬の整理、アンチバイオグラム作成、血液培養陽性症例の診療支援、抗菌薬使用指針の策定、パスの見直しなどを行いつつ、抗菌薬使用に関する相談には迅速に対応しています。その結果、耐性菌の発生を予防しています。

## 高知県内医療従事者の方へ

高知県における唯一の大学病院として、県内全体の感染管理・感染症診療のレベルアップに貢献するため、医療・行政機関と連携して、教育・啓発活動を行います。具体的には、

### ① 相談受付

感染管理や抗菌薬使用方法に関する相談を受け付けます。内容に応じて、医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師が専門的立場からお答えします。

### ② 研修会の開催

本院で研修会を開催し、各部署における研修も行います。また、出前研修にも伺います。

### ③ 訪問支援

希望される病院を訪問し、実際の現場で具体的な感染予防策を提示しつつ、支援を行います。

感染管理についての質問等がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

感染管理部お問い合わせ先

Tel.088-880-2610 Mail:jm-ka\_ar@kochi-u.ac.jp

# 冬のイベント案内 12月～3月

## RKCラジオ 「気になる健康ファミリドクター」

【放送予定日】  
毎週月曜日 午前10:35～(8分間)

※放送内容は後日附属病院ホームページに掲載されます。



- 20年12月21日(月) 妊娠と薬 [薬剤部/森田 靖代]
- 20年12月28日(月) 産期のメンタルヘルス [児童青年期精神医学/高橋 秀俊]
- 21年1月4日(月) アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法とは? [耳鼻咽喉科・頭頸部外科/弘瀬 かほり]
- 21年1月11日(月) 嗅覚の障害に対するリハビリテーション [看護学科/奥谷 文乃]
- 21年1月18日(月) 脂肪肝 [内科(消化器)/廣瀬 享]
- 21年1月25日(月) 自己免疫性膵炎 [内科(消化器)/内田 一茂]
- 21年2月1日(月) 糖尿病について [内科(内分泌代謝・腎臓)/天野 絵梨]
- 21年2月8日(月) 肺癌の個別化医療 [内科(呼吸器・アレルギー)/高松 和史]
- 21年2月15日(月) 高次脳機能障害とは? 認知症とどう違うの? [脳神経内科/古谷 博和]
- 21年2月22日(月) 予防接種、特にロタウイルスワクチンとB型肝炎ワクチン [小児科/森下 祐介]
- 21年3月1日(月) 難治性喘息の対応 [小児科/大石 拓]
- 21年3月8日(月) がんに対する最新の放射線治療 [放射線部/刈谷 真爾]
- 21年3月15日(月) 人工乳房の発癌性について [形成外科/田中 浩史郎]

## テレビ高知 おらんくの大学病院

21年2月7日(日)～3月7日(日) 16:54～17:00

附属病院で行われている最新の臨床研究を順次ご紹介いたします。

- 多血小板血漿(PRP)による再生医療について ●高知大学発案の脳脊髄液減少症の診断法と漏出部位診断法
- 遺伝性乳がん卵巣がん ●脳性麻痺に対する臍帯血細胞輸血について ●泌尿器の最新治療 光線力学診断

[Vol.8]

2020年冬 12月20日 発行

医大  
**おらんくの大学病院**  
[高知大学医学部附属病院]

ご意見、ご感想は  
右記まで  
お寄せください。

高知大学医学部附属病院 広報係  
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮  
Tel.088-880-2723  
http://www.kochi-ms.ac.jp